令和６年度　日本大学生産工学部
総合型選抜第２期募集要項

日本大学生産工学部では，大学での勉学に強く関心を持つ人に対して広く門戸を開放しています。高等学校卒業者はもちろんですが，高等学校卒業程度認定試験の合格者や，社会における経験を経た後に，大学で学びたい人達なども，この総合型選抜第２期に出願することが可能です。

本学部では，日本大学生産工学部を第一志望とし，勉学意欲があり，志望学科のアドミッション・ポリシーに合う人を求めます。

１　生産工学部アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

生産工学部では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学部では，高等学校課程までに修得した知識・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

①　豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって社会（日本社会・国際社会）に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。

②　問題発見及びその解決のために，必要な情報を収集・分析し，自らの思考力をもって，自らの考えをまとめ，表現しようと努力する人。

③　グループやチームをとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，経営や生産管理ができる技術者になろうとする人。

なお，本学部に入学を志す者は，「求める学生像」 を理解して受験していると判断し，入学者選抜では，学力考査等により，４年間の学修に必要な知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性を評価します。

２　各学科アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

機械工学科

機械工学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識 ・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

⑴　豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって社会（日本社会・国際社会）に貢献することを目標とし，機械に深い興味を持ち，ものづくりに夢と情熱をそそぐ意思がある人。

⑵　問題発見及びその解決のために，筋道を立てて物事を考え，その過程と結果を的確に言葉で表現する素養のある人。

⑶　知的好奇心が旺盛で，チャレンジ精神に富み，グループやチームをとおして自己を高め，経営や生産管理ができる機械技術者になろうとする人。

電気電子工学科

電気電子工学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え， 自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識 ・教養・倫理観を基に，以下に示す 「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

⑴　電気電子工学科での履修に必要な基礎学力を有する人。

⑵　電気電子情報通信に興味があり，ものづくりを指向し，経営・生産管理などに興味を持ち，将来，電気電子情報通信の技術者として社会に貢献することを目指す人。

⑶　具体的な目標をたて，その目標達成に向けて自ら考え，自ら道を開く能力を有する人。

⑷　他者と協働して問題解決に当たり，リーダシップを発揮し，自らをも高める努力をする人。

⑸　高い倫理観と道徳観を持ち，社会性と協調性を有する人。

土木工学科

土木工学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を 4 年間の学習と教育により育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修することのできる者を求めています。

「求める学生像」

⑴　豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって，土木工学により社会(日本社会・国際社会)に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。

⑵　問題発見及びその解決のために，必要な情報を収集・分析し，自らの思考力をもって，自らの考えをまとめ，表現しようと努力する人。

⑶　グループやチームでの活動をとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，経営や生産管理ができる技術者になろうとする人。

建築工学科

建築工学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識 ・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

⑴　住居・建築・都市・地域環境に深い興味を持ち，社会に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に取り組むことができる人。

⑵　観察力・表現力・対話力・創造力を有し，問題解決能力・応用能力の基盤となる知識や技術を修得し，自ら表現しようと努力する人。

⑶　社会性・協調性を有し，ボランティア・コミュニティ活動，各種コンクールなどに積極的に挑戦する意欲がある人。

⑷　グループやチームをとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，建築における経営や生産管理ができる技術者になろうとする人。

応用分子化学科

応用分子化学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

(1) 豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって社会（日本社会・国際社会）に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。

(2) 応用分子化学科での履修に必要な基礎学力を有し，問題発見及びその解決のために，必要な情報を収集・分析し，自らの思考力をもって，自らの考えをまとめ，表現しようと努力する人。

(3) グループやチームをとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，経営や生産管理ができる化学技術者になろうとする人。

マネジメント工学科

マネジメント工学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え， 自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識 ・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

⑴　豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもってマネジメントの視点から社会（日本社会・国際社会）に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。

⑵　問題発見及びその解決のために，マネジメントに関わる情報を収集・分析し，自らの思考力をもって，自らの考えをまとめ，表現しようと努力する人。

⑶　グループやチームをとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，生産工学と経営・管理能力を駆使し，新しいことに果敢に挑戦する人。

数理情報工学科

数理情報工学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

(1) 豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって情報化社会に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。

(2) 問題発見及びその解決のために，必要な情報を数理工学，情報工学，メディアデザイン工学を活用し，収集・分析し，自らの思考力をもって，自らの考えをまとめ，表現しようと努力する人。

(3) グループやチームをとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，経営や生産管理ができる情報処理技術者になろうとする人。

環境安全工学科

環境安全工学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え，自ら道をひらく能力を有し，地球環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識・教養・倫理観を基に，以下に示す「求める学生像」を理解して意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

⑴ 豊かな知識・教養を身につけ，高い倫理観をもって，地球環境問題の解決に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。

⑵ 問題発見及びその解決のために，必要な情報を収集・分析し，グローバルな視点に立ち，自らの思考力をもって，自らの考えをまとめ，表現しようと努力する人。

⑶ グループやチームでの協働をとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，地球環境を守ることを尊重した経営や生産管理ができる技術者になろうとする人。

創生デザイン学科

創生デザイン学科では，日本大学教育憲章に則り，自ら学び，自ら考え， 自ら道をひらく能力を有し，社会に貢献できる人材を育成します。

このため本学科では，高等学校課程までに修得した知識 ・教養・倫理観を基に示された生産工学部の「求める学生像」に加え，以下に示す本学科の「求める学生像」も理解し，意欲的に学修を進めていくことのできる者を求めています。

「求める学生像」

⑴ 豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって社会（日本社会・国際社会）に貢献することを目標とし，その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。すなわち，社会や環境の動向に深い関心を持ち，工学知識や技術および技法をもってこれに貢献する意欲がある人。

⑵ ニーズ発見から問題解決までに必要な情報の収集と分析を通してさまざまな領域を関連付けて考え，自らの思考力をもって，自らの考えをまとめ，わかりやすく表現しようと努力する人。

⑶ グループやチームをとおして自己を高め，さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で，「人ともの」「人とこと」の理想的な関係を築くことに強い関心を持ち，この問題解決に向けた新しい提案を生み出そうとする人。

３ 出 願 資 格

次の①～③のいずれかに該当する者

① 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び令和６年３月卒業見込みの者。

② 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者（高等専門学校第３年次修了者等）及び令和６年３月修了見込みの者。

③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和６年３月３１日までにこれに該当する見込みの者（学校教育法施行規則第 150 条）。

⑴ 外国において，学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

⑵ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

⑶ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

⑷ 文部科学大臣の指定した者。

・外国の大学入学資格である国際バカロレア，アビトゥア，バカロレア，GCEA レベル（GCEA レベル２科目以上でＥ評価以上を有している方が対象）を保有する者。
・国際的な評価団体(WASC，CIS，ACSI，NEASC)の認定を受けた教育施設の１２年の課程を修了した者。
・その他

⑸　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和６年３月３１日までに１８歳に達する者。

⑹　１８歳に達し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。

４　出　願　要　件

日本大学生産工学部を第一志望とし，志望する学科のアドミッション・ポリシーについて日本大学生産工学部津田沼キャンパスで開催するオープンキャンパス等に参加して説明を受けるか，募集要項やホームページの当該情報等を閲覧し，これを理解した上で出願書類を提出できる者。

５　募 集 学 科 ・ 募 集 人 員

機械工学科	２名
電気電子工学科	２名
土木工学科	２名
建築工学科	２名
応用分子化学科	２名
マネジメント工学科	２名
数理情報工学科	２名
環境安全工学科	２名
創生デザイン学科	２名

※　合格基準に達しない場合には，合格者数が募集人員に満たない場合があります。

６　出　願　手　続

日本大学インターネット出願サイトにアクセスし，出願登録と入学検定料の納入を行ってください。インターネット出願サイトへのアクセス方法は，別紙「日本大学・日本大学短期大学部インターネット出願の利用手順」を参照してください。

入学検定料納入後，インターネット出願サイトから「宛名ラベル」及び「①出願確認票」をＡ４サイズの用紙にプリントアウトし，市販されている封筒に「宛名ラベル」を貼付の上，プリントアウトした「①出願確認票」と以下の書類（②～④）を封入し，必ず簡易書留で郵送（必着）するか，生産工学部入試センターへ直接持参してください。

①　令和６年度日本大学出願確認票（大学送付用）
　※ 別紙「日本大学・日本大学短期大学部インターネット出願の利用手順」を参照してください。

②　出身学校調査書等
　※１ 出願資格③の⑴～⑷に該当する者は，修了（見込み）証明書と成績証明書を提出してください。
　※２ 出願資格③の⑸に該当する者は高等学校卒業程度認定試験合格成績証明書又は合格見込み成績証明書を提出してください。
　※３ 出願資格③で調査書を提出できない受験者の書類審査については，本試験に出願した全志願者の平均点と同評価とします。

③　志望理由書（同封のもの）

④　資格・受賞歴等がある場合は，資格・受賞歴等一覧表（同封のもの）

⑤　入学検定料　35,000 円
　※ 別紙「日本大学・日本大学短期大学部インターネット出願の利用手順」を参照してください。

※　インターネット出願サイトでの入力だけでは正式な出願手続完了とはなりません。出願書類が本学で受理されて初めて正式な出願となりますので，必ず出願書類を生産工学部入試センターへ提出してください（出願締切日必着）。

※　受験に際し，病気・負傷や障がい等のために，受験・就学上の配慮を希望される場合は，出願前のできるだけ早い時期に必ず日本大学生産工学部入試センターにお問い合わせください。

７　出　願　期　間

令和５年１１月２７日（月）～令和５年１２月５日（火）　≪必着≫

※窓口受付時刻（10：00～16：00）

８　出願書類の送付先

〒275-8575　千葉県習志野市泉町 1-2-1

日本大学生産工学部教務課入試センター　電話：047-474-2246

９　選　　考

書類審査（出身学校調査書等），基礎学力検査（英語・数学），模擬授業，面接。合否判定は総合点によるものではなく，各項目に基準を設けて行います。

①　日　　時　令和５年１２月１０日（日）　１０時００分～

②　場　　所　日本大学生産工学部津田沼キャンパス

③　選考方法　(1)　書類審査（出身学校調査書等）【配点１００点】

※調査書等の各項目について総合的に評価します。

(2)　基礎学力検査（英語・数学）合わせて１２０分

【配点各１００点・合計２００点】

※基礎学力検査の出題範囲は以下のとおりです。

英語：コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲からの出題で，教科書の問題レベル

数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ（確率分布と統計的な推測を除く）の範囲からの出題で，教科書の問題レベル

(3)　模擬授業【配点１００点】

※学科によっては「グループ討議」を課す場合があります。

(4)　面接【配点１００点】

10　合　格　発　表

令和５年１２月１６日（土）　正午

合格発表日から入学手続締切日まで，「インターネットによる合否案内」を実施していますので，インターネット出願の「マイページ」内の「合否案内」より確認してください。なお，誤操作・見間違い等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

11　入 学 手 続 締 切 日

令和５年１２月２５日（月）　１７時（納入金支払締切）

「マイページ」内の「入学手続」より手続きを進めてください。

※注意１…　入学手続完了後（入学手続時納入金を全額納入した後）に，やむをえない理由によって本学への入学を辞退する場合は，電話により令和６年１月３１日（水）１７時までに日本大学生産工学部入試センターへ申し出てください。

申し出を受理しますと，「入学辞退願」を本学より送付いたしますので，必要事項を記入の上，速やかに返送してください。手続き終了後，入学金を除く入学手続時納入金（諸会費等を含む）は返還いたします。ただし，いったん提出された書類及び入学金は返還いたしません。

なお，令和６年２月１日（木）以降に申し出があった場合は，書類及び入学金を含む入学手続時納入金は返還いたしません（傷害保険については，約款の定めるところによる）。

《注意》

①　入学辞退の申し出受理に際しては，直接本人の意思確認をさせていただきます。

②　入学辞退の申し出を，本学が受理した後の辞退の取り消しは認めません。

③「入学辞退願」が提出されない場合，入学金を除く入学手続時納入金の返還手続きができませんので，必ず提出してください。

※注意２…　総合型選抜第２期は本学部を第一志望とする者に対する試験であることから，合格後に他大学及び日本大学の他学部の入学試験を併願することはできませんのでご注意ください。

12　入学手続時納入金（一括 1,000,000 円）

（内訳）

項　　目	年　　額	**入学手続時納入金（前　期）**	９月納入金（後　期）	摘　　要
入　　学　　金	260,000 円	**260,000 円**	― 円	入学時のみ納入
授　　業　　料	1,100,000	**550,000**	550,000	毎年度同額納入
実 験 実 習 料	80,000	**40,000**	40,000	２年次は９万円 ３・４年次は 10 万円
施 設 設 備 資 金	220,000	**110,000**	110,000	1～4 年次同額納入
維　持　会　費	30,000	**30,000**	―	毎年度同額納入
校友会費（準会員）	10,000	**10,000**	―	毎年度同額納入
合　　計	1,700,000	**1,000,000**	700,000	

（備 考）①　１年次後期分以降の納入期限は，後期分９月 30 日，前期分４月 30 日となります。
（ただし，土・休日の場合は金融機関前営業日）
②　卒業年度に校友会費（正会員）初年度分を１万円納入。

13　入学前学習

本学部では，総合型選抜及び学校推薦型選抜等によって早期に入学が決定した方を対象に，大学での学修に対する準備及びみなさんの大学生活をより充実したものにするため，入学前に行うプログラムをご用意しています。

令和５年度は，数学のスクーリングや映像授業による自宅学習のほか，各学科から専門分野に関する課題等を実施いたしました。

【学科における人材の養成その他の教育研究上の目的】

機械工学科

機械工学は生産活動の基盤を支える学問であり，我々の生活を豊かにしてきた。近年，“機械”は人間や自然環境との調和を図ることが重要視され，長期的，広域的視野を持った技術者が必要とされている。このような背景から，機械の面白さやものづくりの楽しさを体感した経験を持ち，ものの作り方や使われ方を知り，自分が作りたいものを具体化して社会の理解を得ながら，ものづくりの現場をグローバルな視点からマネジメントできる人材を養成する。

電気電子工学科

産業構造の変革と高度情報化社会の進展に伴って，電気電子工学の進歩は著しく，また多様化している。これに対応できるように基礎学力と専門領域の知識を身に付け，さらに経営・管理工学を学び，実験・実習を通じて問題解決能力が高く，創造性豊かで，しかも経営能力も有する技術者を養成する。

土木工学科

土木分野に関する理論・現象を実験・実習・設計を通して習得するとともに，実社会における生産実習(企業体験)と経営や安全管理の基礎を学び，専門職の実務に対応できる基本能力を備えた技術者を養成する。さらに，習得した知識の集大成として，土木分野の課題を探究・創造・解決するプロセスを学び，土木技術者としての総合能力を養成する。

建築工学科

建築の基礎となる，「計画」，「構造」，「環境・設備」，「材料・施工」の総合的知識を持ち，高い倫理観のみならず，国際感覚，問題解決能力，応用能力，創造力，さらには発表能力・対話能力に重点をおいて，徹底的に教育指導をし，国際化が進む社会の要請に応えうる，そして経営能力も有する人材を養成する。

応用分子化学科

地球上に存在する物質は，わずか 100 種類ほどの元素の組み合わせによって成り立っている。これらの物質を対象に，豊かで安全な社会を維持させるために資源と環境を調和させながら，材料の無限

の可能性を追求する教育研究を行っている。これによって，物質的な学問知識に加え，必要な特性を持つ素材を生み出す「分子デザイン能力」，環境に優しいものづくりのための「グリーンケミストリー」の概念，及び技術者としての倫理観を備え，製品化に向けた計画から生産するまでの「マネジメント能力」を身に付けた化学技術者を養成する。

マネジメント工学科

自然・社会・人間科学などの科学技術を応用した工学的知識をベースに，健全な企業経営の推進，自然・社会環境の向上，人にやさしい製品やシステムの開発・設計そして運用などにかかわる工学的理論や方法論を教育研究し，経済社会の活動を効果的に進めるため，グローバル化にも対応した経営・管理技術を身に付けた人材を養成する。

数理情報工学科

ＩＴ（情報技術）並びにＩＣＴ（情報通信技術）が，既存の生産活動並びにビジネスの仕組みを大きく変えるエンジンであるという認識に立ち，インターネットの活用法，各種プログラミング技法，ソフトウェア構築法などの情報処理能力，並びにシステム工学・数理工学に裏付けられた問題発見・解決能力を習得した人材を養成する。

環境安全工学科

地球規模の視野を持ち，持続発展可能な社会の実現のために工学分野を複合的に学び，環境共生とエネルギーに関する知識と応用能力および技術が社会と自然に及ぼす効果と影響について，サステイナブル（持続可能）な視点から考え行動できる総合能力を有する技術者を養成する。

創生デザイン学科

自然科学をベースとする工学知識や技術，芸術を基礎とする感覚や技法，その両方を駆使して人と人工物の理想的な関係を築くことこそがデザインであると捉え，これを実践できる人材を育成することを目標とする。これを実現するために，統合された理論的なデザインの方法である「デザイン思考」の重要なステップ「共感」「問題定義」「創造」「プロトタイピング」「テスト」をカリキュラムに取り入れ，社会全般を見渡して，新しい商品やしくみを提案したり，開発できるデザイン・エンジニアを養成する。

【各学科設置のコース・プログラムについて】

機械工学科（３コース設置）
①自動車コース　②航空宇宙コース　③ロボット・機械創造コース
電気電子工学科（２コース，２プログラム設置）
①エネルギーシステムコース
②エネルギーシステムコース（クリエイティブエンジニアプログラム）☆
③ｅコミュニケーションコース
④ｅコミュニケーションコース（クリエイティブエンジニアプログラム）☆
土木工学科☆

建築工学科☆

応用分子化学科（２コース設置）
①応用化学システムコース　②国際化学技術者コース☆
マネジメント工学科（３コース設置）
①ビジネスマネジメントコース　②経営システムコース　③フードマネジメントコース
数理情報工学科（３コース設置）
①シミュレーション・データサイエンスコース　②メディアデザインコース
③コンピュータサイエンスコース☆
環境安全工学科（２コース設置）
①環境安全コース　②環境エネルギーコース
創生デザイン学科（２コース設置）
①プロダクトデザインコース　②空間デザインコース

※　各学科のコース分けは入学後に希望調査等を実施し，決定されます。
※　「☆」のコース，プログラムはＪＡＢＥＥ（日本技術者教育認定機構）により国際的な要求水準を満たした技術者教育プログラムであることを認定されたコース，プログラムです。
※　コースについては変更される場合があります。

【ＪＡＢＥＥ（「日本技術者教育認定機構」認定プログラム）】

日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）は理工系・農学系大学における技術者教育プログラムの審査と認定を統一的基準に基づいて行うものであり，1999 年 11 月に設立されました。この技術者教育プログラム認定の目的は教育の質を高め，わが国の国際的な同等性を確保することにあります。すなわち，ＪＡＢＥＥの審査を受け，要求する基準を満たしていることが認定されれば，その教育プログラムは国際水準に認められたことになります。いいかえれば，そのプログラム修了者は，国際的に通用する技術者に必要な基礎教育を完了したものと見なされます。（http://www.jabee.org/）

【選抜制スペシャルプログラムについて】

本入学者選抜に合格して入学した場合，所属学科の学びにプラスして以下の４つのプログラム，Glo-BE（グローバル・ビジネスエンジニア人材育成プログラム），Entre-to-Be（事業継承者・企業家育成プログラム），Robo-BE（ロボットエンジニア育成実践プログラム），STEAM-to-BE（好奇心からイノベーションへつなげるモノづくり人材育成プログラム）から選択して，学べます。

○ Glo-BE（グローバル・ビジネスエンジニア人材育成プログラム）

ビジネスエンジニアリングをグローバルな視点から見ることができる技術者の育成を目的として，世界中のどこでもたくましく活躍できる力を１年半で身につける，少数精鋭（全学科で約５０名）のスペシャルプログラムです。

○ Entre-to-Be（事業継承者・企業家育成プログラム）

技術力，経営力，創造性を駆使し，次世代社会の発展を目指す経営者の育成を目的として，「将来は自分で会社を経営したい」「親の会社をいずれ継ぐことになる」など，事業継承者，企業家をめざす人材に必要な力を１年半で身につける，少数精鋭（全学科で約６０名）のスペシャルプログラムです。

○ Robo-BE（ロボットエンジニア育成実践プログラム）

創造性と実用性を兼ね備えたロボット技術者の育成を目的として，ロボットの仕組み，制御，ロボットの創造に必要な理論や知識を２年半で身につける，少数精鋭（全学科で約３０名）のスペシャルプログラムです。

○ STEAM-to-BE（好奇心からイノベーションへつなげるモノづくり人材育成プログラム）

科学・技術・工学・数学の教育分野をもとに「Art の視点（創造的な視点）」をもって課題解決できる人材の育成を目的として，将来イノベーションに貢献できる力を１年半で身につける少数精鋭（全学科で約３０名）のスペシャルプログラムです。

【個人情報の保護について】

日本大学（短期大学部を含む）では，出願書類に御記入いただきました志願者の氏名・住所等の個人情報は，入学試験の出願受付，実施，合格発表，さらには入学に至る一連の手続と，日本大学で学生生活を始めるに当たって必要となる書類・お知らせ等の送付及び入学者データの統計処理のために使用いたします。

なお，日本大学はこれらの業務の一部を業者に委託する場合があります。この場合，日本大学及び当該業務の委託を受けた業者は，上記利用目的の達成に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

〒275-8575　千葉県習志野市泉町１－２－１
日 本 大 学 生 産 工 学 部
電話 ０４７（４７４）２２４６